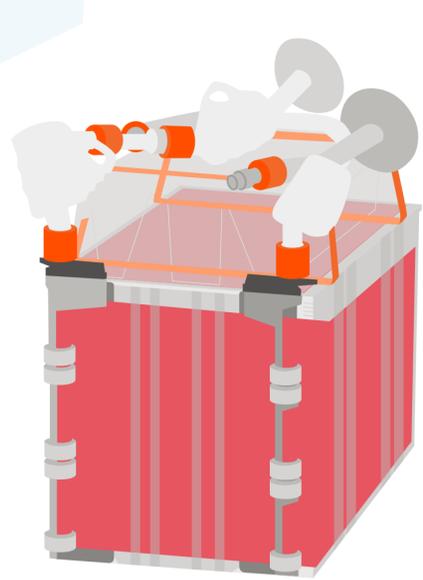


接着培養 それとも 浮遊培養： あなたの研究室に最適なのはどちら？

お客様のプロセスをサポートする様々な細胞培養プラットフォーム

研究室で細胞培養方法を選択する時には、
どのようなプラットフォームと方法が、細胞の種類や用途、
目的に適しているかを検討する必要があります。
接着培養と浮遊培養の選択は、細胞の種類だけでなく、
どのくらいのスケールが必要なのか、
結果を早く出す必要があるのか、などにもよります。
最終的な目標を知ることが、選択する際の助けとなります。

接着 それとも 浮遊： メリットとデメリットの比較

+	接着	-
<ul style="list-style-type: none">• 使いやすさ• 様々な表面処理と生物学的コーティング• 細胞株によっては接着依存の生物学的環境が必要• 細胞の可視化が容易で、形態観察が可能• 一貫したプラットフォームで迅速な移行を実現		<ul style="list-style-type: none">• 表面積に制限されるスケーラビリティ• 培地容量条件が変更できない、または制限されている場合がある
+	浮遊	-
<ul style="list-style-type: none">• スケーラビリティにより、臨床研究用アプリケーションの大容量化が可能• 新しい自動化技術により、効率性と一貫性が実現		<ul style="list-style-type: none">• 接着依存性細胞種を浮遊培養にするための移行時間• シェアストレスに敏感な細胞種がある• 細胞の可視化が困難

接着培養と浮遊培養のどちらのスケールアップ法にも長所と短所があります。
専門家に相談し、プロセス開発のマップを作成することがお薦めです。

どの細胞培養プラットフォームがお客様のプロセスに最適かを判断するために、
当社のフィールドアプリケーションスペシャリストがご相談にのります。
[お問い合わせフォーム](#)よりご連絡ください。

www.corning.com/lifesciences

CORNING

• 商品の外観・仕様は予告無しに変更することがあります。予めご了承ください。
• For a listing of trademarks, visit www.corning.com/clstrademarks.
All other trademarks are the property of their respective owners.
• 保証・免責事項：特に記載がない限り、記載中の製品は研究用機材および試薬です。
診断、または治療用途には使用しないでください。また人体には使用しないでください。
コーニングライフサイエンスは本製品の臨床または診断用途でのいかなるパフォーマンスについても保証しません。

©2022 Corning Incorporated
CLS-316-00
CLS-AN-674
RO-2208-000-B